

【心理学研究科心理学専攻（専門：一般心理学）解答例と出題意図】

【解答例】

【問 1】

- ① 早期完了
- ② レスポンデント条件づけ、古典的条件づけ（いずれの解答でも可）
- ③ ワーク・エンゲージメント
- ④ 局所論
- ⑤ 因子分析
- ⑥ 脱抑制型対人交流障害
- ⑦ 展望記憶
- ⑧ 脱フュージョン，脱中心化（いずれの解答でも可）
- ⑨ 知恵
- ⑩ FRI

【問 2】（各設問の解答例または出題意図）

- ①（出題意図）以下のような点を踏まえて要素主義について説明することが期待される。
心理学的現象を扱う科学には、その現象を基礎的な知覚や基本的な反射のような単純な要素に還元することで説明する手続きが適切であるという考え方。W.ヴントの心理学観を指す場合が多い。
- ②（出題意図）本問題は、神経心理学に関する基礎的知識と、高次脳機能障害の具体的症状ならびに日常場面への影響についての理解と論述能力を評価することをねらいとしている。前者については、脳梁の解剖学的特徴や機能，およびその障害によって生じる脳梁離断症候群の各兆候に対する理解を評価する。後者については、神経心理学的知識を基盤としつつ、高次脳機能障害による症状が当事者の行動や日常生活にどのような影響を及ぼすかを具体的に検討する発展能力と、自身の考えを論理的かつ明確に記述する能力を評価する。
- ③（解答例）人が適応的に年をとるには、社会で活発に活動し続けたほうがよい（活動理論）のか、それとも社会から徐々に離れていったほうがよい（離脱理論）のか、という議論の中で、Carstensen が新たに提唱した考え方である。高齢者は、自分の人生の残り時間が限られていると認識した結果、自分にとって肯定的な感情経験を起こしやすい行動や社会的接触を選択し、逆に否定的な感情を伴う行動や社会的接触を避けるように動機づけられる。このような動機に基づいて生活することによって、年をとっても適応的に生きられるという。このような考え方によって、エイジングのパラドックスのある部分が説明できると考えられている。

- ④ (出題意図) この問題では、社会心理学のキーワードである社会的スキーマを適切に理解しているかを評価している。社会的スキーマの特徴を一般的に説明した上で、役割スキーマ、出来事スキーマなどの主な種類を具体例を挙げて説明することが期待される。抽象的な説明だけでなく、具体例を求めることによって、解答者の理解の深さを測る意図がある。
- ⑤ (解答例) データの母集団がどのような分布であるとしても、そこから抽出するサンプルの n が十分に大きければ、その標本平均の分布は正規分布に近づくとする定理である。この定理のゆえに、母集団の分布にかかわらずデータに対して様々な推測統計の手法を適用することが可能である。
- ⑥ (出題意図) 本問は、我が国の職場におけるメンタルヘルス対策の基本枠組みである「四つのケア」(厚生労働省 2015 年指針) について、名称・担当主体・役割を正しく示し、相互のつながりを踏まえて説明できるかを以下の観点から確認することを目的とする。
1. 制度的枠組みの理解: 「四つのケア」(セルフケア/ラインによるケア/事業場内産業保健スタッフ等によるケア/事業場外資源によるケア) を正式名称で列挙でき、その担当主体と基本的な役割を過不足なく示しているか。
 2. 概念理解と説明のわかりやすさ: 各ケアについて、目的(何のために)と手段・具体内容(どのように)について、簡潔かつ論理的に述べられているか。
 3. 相互関係と予防段階の把握: 四つのケアが役割分担しながら連携する仕組みであることを示し、一次予防(不調の予防)・二次予防(早期発見・対応)・三次予防(復職支援・再発防止)の視点と大まかな対応関係を適切に述べられているか。
 4. 実務への結びつき: 管理監督者による業務量の調整や職場環境の改善、産業医・保健師による相談対応や復職支援、外部資源(医療機関・EAP等)の活用など、職場で想定される具体的行為に触れられているか。
- 以上より、産業領域において必要な基礎知識と説明能力の確認を意図している。

【出題意図】

【問1】

本設問は、受験者の基礎的な心理学専門用語に対する幅広い知識を測ることを目的としている。特に、入学後の講義や実習で円滑な学びを得る為に必要な知識の中から特定の分野に偏らないように設問を設定している。

【問2】

本設問は、特定の心理学のテーマについて深く理解し、それを言語化・文章化する能力があるか測定することを目的としている。特に、入学後の講義や実習において必要なディスカッションスキル、レポート作成スキル、論文作成スキルの素養を評価することに焦点が当てられている。